



2023年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月10日

上場会社名 北興化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4992 URL <https://www.hokkochem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 綿井 聡 (TEL) 03-3279-5152
 四半期報告書提出予定日 2023年4月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年11月期第1四半期の連結業績（2022年12月1日～2023年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第1四半期	14,197	6.1	2,327	24.9	2,415	21.1	1,692	22.2
2022年11月期第1四半期	13,377	15.6	1,864	72.3	1,994	61.4	1,385	61.5

(注) 包括利益 2023年11月期第1四半期 1,362百万円 (155.2%) 2022年11月期第1四半期 534百万円 (△23.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第1四半期	62.47	—
2022年11月期第1四半期	51.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年11月期第1四半期	61,283	39,305	64.1
2022年11月期	57,566	38,240	66.4

(参考) 自己資本 2023年11月期第1四半期 39,305百万円 2022年11月期 38,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期	—	10.00	—	11.00	21.00
2023年11月期	—	—	—	—	—
2023年11月期（予想）	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年11月期の連結業績予想（2022年12月1日～2023年11月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	4.8	4,600	△2.7	5,300	△10.2	3,800	△9.8	140.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規一社（社名）、除外一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年11月期1Q	29,985,531株	2022年11月期	29,985,531株
② 期末自己株式数	2023年11月期1Q	2,904,405株	2022年11月期	2,904,387株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年11月期1Q	27,081,137株	2022年11月期1Q	27,081,595株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想に関しましては現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和等により、緩やかに持ち直しております。景気の先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待されます。しかしながら、世界的な金融引き締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

このような状況のもと、当社グループは、「収益構造改革」、「造り方改革」、「働き方改革」の三つの改革を柱とした、5ヵ年経営計画「HOKKO Value Up Plan 2030 1st Stage for Creation」（2021年11月期～2025年11月期）の経営目標達成に向けて、新製品の普及や新規受託品の受注活動に注力しております。また、企業理念に基づく「SDGsへの取り組み方針」を定め、その達成を目指しております。

当第1四半期の業績は、ファインケミカル事業における販売が好調に推移したことから、売上高は、14,197百万円、前年同期比820百万円（6.1%）の増収となりました。

利益面では、売上の増加に加え、原価低減等もあり、営業利益は、2,327百万円、前年同期比464百万円（24.9%）の増加、経常利益は、2,415百万円、前年同期比420百万円（21.1%）の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,692百万円、前年同期比307百万円（22.2%）の増加となりました。

セグメントの概況については以下のとおりです。

〔農薬事業〕

農薬事業の売上高は、国内販売における園芸剤の受注やアジア向けを中心とする海外販売が増加したものの、国内販売における水稻剤の引き取り時期の遅れ等から、9,256百万円、前年同期比88百万円（0.9%）の減収となりました。営業利益は、北海道新工場の稼働に伴う減価償却費の増加があったものの、原価低減等により、959百万円、前年同期比75百万円（8.5%）増加となりました。

〔ファインケミカル事業〕

ファインケミカル事業の売上高は、樹脂分野を中心に販売が順調に推移したことから、4,524百万円、前年同期比851百万円（23.2%）の増収となりました。営業利益は、売上の増加に加え、原価低減等もあり、1,353百万円、前年同期比376百万円（38.4%）の増加となりました。

〔繊維資材事業〕

繊維資材事業の売上高は、環境配慮型の再生ポリエステル素材の販売好調等により、413百万円、前年同期比57百万円（16.1%）の増収となりました。営業利益は、売上が増加したことにより、17百万円となり前年同期比14百万円（554.1%）の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は61,283百万円となり前連結会計年度末比3,717百万円の増加となりました。主な内訳として、受取手形、売掛金及び契約資産が増加した一方、現金及び預金が減少しております。

負債の残高は21,978百万円となり前連結会計年度末比2,653百万円の増加となりました。主な内訳として、支払手形及び買掛金並びに短期借入金が増加した一方、未払費用が減少しております。

純資産の残高は39,305百万円となり前連結会計年度末比1,064百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は64.1%となり、前連結会計年度の66.4%から2.3ポイント減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月期の連結業績予想につきましては、2023年1月13日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,814	2,448
受取手形、売掛金及び契約資産	11,318	18,131
商品及び製品	11,908	10,956
仕掛品	392	493
原材料及び貯蔵品	5,281	6,459
返品資産	12	2
その他	934	689
流動資産合計	34,659	39,177
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,516	5,437
機械装置及び運搬具（純額）	4,597	4,716
土地	962	962
その他（純額）	658	366
有形固定資産合計	11,733	11,481
無形固定資産	615	599
投資その他の資産		
投資有価証券	9,790	9,249
繰延税金資産	74	80
返品資産	45	50
その他	670	665
貸倒引当金	△20	△19
投資その他の資産合計	10,559	10,027
固定資産合計	22,907	22,106
資産合計	57,566	61,283

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,548	8,358
短期借入金	97	2,100
1年内返済予定の長期借入金	1,400	1,400
未払金	3,012	2,306
未払法人税等	988	882
未払消費税等	9	346
未払費用	3,303	1,634
賞与引当金	—	239
返金負債	141	45
その他	53	72
流動負債合計	14,552	17,383
固定負債		
退職給付に係る負債	2,595	2,565
繰延税金負債	1,510	1,301
返金負債	546	618
その他	123	111
固定負債合計	4,774	4,595
負債合計	19,325	21,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	26,977	28,371
自己株式	△1,311	△1,311
株主資本合計	31,488	32,882
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,955	5,594
為替換算調整勘定	401	448
退職給付に係る調整累計額	397	380
その他の包括利益累計額合計	6,752	6,423
純資産合計	38,240	39,305
負債純資産合計	57,566	61,283

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)
売上高	13,377	14,197
売上原価	9,839	10,212
売上総利益	3,538	3,985
販売費及び一般管理費	1,674	1,658
営業利益	1,864	2,327
営業外収益		
受取利息及び配当金	72	97
受取手数料	15	9
為替差益	30	—
その他	20	41
営業外収益合計	137	147
営業外費用		
支払利息	6	4
為替差損	—	54
その他	0	2
営業外費用合計	6	60
経常利益	1,994	2,415
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除却損	3	8
投資有価証券売却損	—	6
特別損失合計	3	14
税金等調整前四半期純利益	1,992	2,401
法人税等	607	709
四半期純利益	1,385	1,692
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,385	1,692

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	1,385	1,692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△872	△361
為替換算調整勘定	46	47
退職給付に係る調整額	△25	△16
その他の包括利益合計	△851	△329
四半期包括利益	534	1,362
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	534	1,362

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしています。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	農薬事業	ファイン ケミカル 事業	繊維資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,344	3,673	356	13,373	4	13,377	—	13,377
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	3	3	144	146	△146	—
計	9,344	3,673	359	13,376	148	13,523	△146	13,377
セグメント利益	884	977	3	1,864	5	1,868	△4	1,864

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4百万円には、セグメント間取引消去5百万円およびのれんの償却額△10百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	農薬事業	ファイン ケミカル 事業	繊維資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,256	4,524	413	14,193	4	14,197	—	14,197
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	4	4	132	136	△136	—
計	9,256	4,524	417	14,197	136	14,333	△136	14,197
セグメント利益	959	1,353	17	2,329	5	2,333	△6	2,327

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△6百万円には、セグメント間取引消去4百万円およびのれんの償却額△10百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。